

平成31年度予算

『輝け渋川！未来創造予算』

一般会計総額375億円

一般会計予算の概要

平成31年度予算編成では、財政の健全化に努めるとともに、厳しい財政状況を乗り越えるため、前年度に引き続きゼロベースで事務事業を見直し、必要な分野へ限られた財源を重点配分しました。

その結果、平成31年度一般会計予算の総額は、375億5300万円、前年度比6・7割の増額となりました。

また、各特別会計、水道事業会計を合わせた予算総額は、641億7175万1千円で、前年度比4・5割の増額となりました。

本市の喫緊の課題である、少子高齢化への対応や防災体制の強化など、直面する緊急的な課題にスピード感を持って対応していきます。また、将来にわたり活力のある地域づくりを進めるため、これまでに種をまき、芽出しを行った施策を育てていきます。

さらに、将来のために、新たな

種をまく施策にも、積極的に取り組んでいきます。

ポイントは4つの柱

今年度予算のキャッチフレーズは、「輝け渋川！未来創造予算」。

新しい時代を力強く切りひらき、市民一人ひとりが未来に夢や希望を持って輝けるまちとなるよう、渋川の再生に取り組んでいきます。

これを実現するため、「安全安心元気な暮らしをつくる」「身近な生活環境の整備」「未来への投資」「行政改革」の4つの柱を立て、それぞれに位置付く取り組みを積極的に進めていきます。

人口減少対策については、「新産業ゾーンの創生」「公共交通体系の充実」「子育て環境の充実と渋川の魅力発信」「まちなかの再生」を重点課題とし、全庁を挙げて具体的な施策に本格的に取り組んでいきます。

詳しくは、**本財政課(☎22414)**へ。

平成31年度 予算概要

- 平成31年度当初予算額(一般会計)
375億5,300万円
(前年度比+23億5,800万円)
- 市民一人あたりの予算額(一般会計)
47万9千円(前年度比+3万円)
※人口は、平成27年度国勢調査の確定値(78,391人)で算出
- 市債残高(一般会計・平成31年度末見込)
361億1,956万円
(平成30年度末見込との比較 ▲8億1,354万円)
- 市民一人あたりの市債残高
46万1千円
(平成30年度末見込との比較 ▲1万円)
- 基礎的財政収支(プライマリーバランス)
+11億2,300万円

平成31年度予算額一覧

会計名	当初予算額		前年度対比		
	平成31年度	平成30年度			
一般会計	375億5,300万円	351億9,500万円	6.7%		
特別会計	国民健康保険特別会計	92億5,477万円	94億3,125万円	-1.9%	
	内訳	(事業勘定)	91億776万円	92億8,412万円	-1.9%
		(診療施設勘定)	1億4,701万円	1億4,713万円	-0.1%
	後期高齢者医療特別会計	11億7,098万円	10億7,219万円	9.2%	
	介護保険特別会計	87億7,014万円	85億6,085万円	2.4%	
	農産物直売事業特別会計	265万円	389万円	-31.9%	
	伊香保温泉観光施設事業特別会計	2億3,835万円	1億7,214万円	38.5%	
	小野上温泉事業特別会計	3,677万円	3,446万円	6.7%	
	交流促進センター事業特別会計	2,014万円	599万円	236.4%	
	下水道事業特別会計	26億8,540万円	25億7,979万円	4.1%	
	農業集落排水事業特別会計	11億9,040万円	11億3,666万円	4.7%	
	個別排水処理事業特別会計	2,780万円	2,460万円	13.0%	
	水道事業会計	32億2,135万円	31億9,442万円	0.8%	
合計	641億7,175万円	614億1,124万円	4.5%		

4つの柱ごとに、主な事業や取組を紹介します。
 (●=新規事業、●=拡充事業、◆=継続事業、●=取り組み)

1

安全安心
元気に暮らしをつくる



40m²級の防火水槽を7カ所に新設し消防水利不足地域の解消に努めます

防災備蓄品として新たに液体ミルクを導入(写真はイメージ)



高齢者の社会参加を促し生きがいを支えます

防災や防犯の体制づくりを進め、安心して暮らせる安全なまちづくりを推進します。

- 乳児用液体ミルクの備蓄(57万円)
災害に備えて従来から備蓄している粉ミルクに加え、国内メーカーが製造・販売する乳児用の液体ミルクを備蓄し、災害発生時の子育て世帯への支援体制を強化します
- シルバーカフェの開催(60万円)
高齢者の社会参加を促すため、各地区の公民館などで「シルバーカフェ」を開催し、元気に活動してもらおうきっかけづくりを支援します
- 外国人材活躍推進(68万円)
- 防火水槽の新規整備(9,348万円)
平成33年度までに消防水利不足地域を解消するため、市内7カ所に40m²級の防火水槽を新設します
- 防犯カメラの増設(500万円)
通学路などの必要箇所に、防犯カメラを増設します。また、新設される渋川警察署吹屋交番(仮称)との連携を強化し、防犯活動への支援に取り組みます
- 歯周疾患検診事業(176万円)

2

身近な生活環境の整備

地域からの要望に迅速に対応し、快適に暮らせる生活環境の整備に努めます。

- 高齢者の移動支援(481万円)
平成30年度に行った実証調査の結果を踏まえ、運転免許証を持たない75歳以上の人のタクシー利用を助成します
- 地域公共交通網形成計画策定事業(1,801万円)
- 吾妻川公園のトイレ洋式化(1,035万円)
- 赤城総合運動自然公園のトイレ洋式化(947万円)
- 生活道路等緊急整備事業(1億4,607万円)
道路の補修や除草などの地域要望に迅速に対応するため、生活道路等緊急整備の予算を大幅に増額し、快適に暮らせる生活環境の整備に努めます
- 有害鳥獣対策事業(2,586万円)
有害鳥獣による被害の拡大を防止するため、有害鳥獣捕獲隊の拡充をはじめとした捕獲対策と、荒廃山林の解消や電牧柵の導入支援などによる野生動物の棲み分け対策を総合的に実施します
- ◆ JR八木原駅周辺整備事業(5,987万円)
JR八木原駅周辺整備の早期実現を目指し、東西駅前広場の基本設計や既存駅前トイレの改修を行います。また、駅東側アクセス道路の用地取得に向けた測量等を行い、着実な事業の推進を図ります



道路の補修など身近な環境を整備します



高齢者の移動支援のためタクシーの利用を助成します

少子化と人口減少を克服し将来にわたって活力のある地域を維持するため、種をまき、芽出しを行った施策をさらに育て、新たな種をまく施策に取り組みます。



教育の充実



大型テレビなどを活用した授業を
全小学校で行います
(写真は伊香保小学校の授業の様子)

- 学ぶ楽しさを味わうICT活用の推進
(1億3,875万円)
児童の学習意欲を育み、学力の向上を図るため、小学校の各教室にICT機器を導入します
- 小中学校不登校対策事業(ウォームアップティーチャ―の配置)(525万円)
- 小中学校空調機器整備(7億5,836万円)
(繰越分7億4,422万円を含む)
夏季までに市内全ての小・中学校の普通教室に空調機器を整備します。また、小学校の特別教室に、空調機器を整備するための実施設計を行います
- 小学校トイレの改修(2億955万円)
(繰越分1億9,996万円を含む)
- ◆ (仮称)アレルギー対応給食センター東部学校給食共同調理場建設工事(8億3,059万円)



子育て支援



昨年長尾小で行われた
グローバルコミュニケーションデー

- はじめての英語ふれあい事業(243万円)
子どもたちが幼児期から英語に親しみ、小学校での英語必修化などにスムーズに対応できるように、公立保育所・幼稚園での英語活動を統一的な内容で実施します
- 子育て世代包括支援センターの設置(980万円)
- 不妊治療費助成事業(770万円)
不妊治療費の助成要件としている通算3年度の制限を撤廃し、経済的な負担を軽減します
- ◆ 第2子以降の保育料の無料化(平成31年10月から実施される国の幼児教育の無償化に上乘せ)
(1億3,636万円)



産業の振興



昨年11月に1階がオープンした
渋川駅前プラザ

- 創作こけしの後継者育成(412万円)
本市を代表する伝統工芸品である創作こけしについて、高齢化が進む生産者の後継者を確保するため、地域おこし協力隊制度を活用し、後継者の育成を支援します
- アニメツーリズムの推進(1,505万円)
- 渋川伊香保温泉手ぶら観光実施事業(120万円)
渋川駅前プラザで旅行者の荷物を預かる「手ぶら観光」を支援します
- 外国語表記観光案内板整備事業(100万円)
伊香保温泉を中心に外国語表記の案内板を整備します
- 県産木材の活用推進(500万円)
- 外国人観光客おもてなし強化事業(102万円)
外国人観光客を対象とした「共通フリーパス」を販売します
- ジョブサポート渋川(就業相談窓口)の充実(445万円)
窓口の開設を月1回から週1回に拡充し積極的な就業支援を行います
- 渋川駅前プラザの改修(1,170万円)
渋川駅前プラザの2・3階を、市民の作品や創作こけしを展示する市民ギャラリーなど、市民が集い交流できるコミュニティスペースとして整備します
- 新産業ゾーン創生構想の策定(1,231万円)

4つの柱ごとに、主な事業や取組を紹介します。
 (●=新規事業、●=拡充事業、◆=継続事業、●=取り組み)

 都市基盤の整備



整備が進む上信自動車道

● JR渋川駅周辺地域再生構想策定事業(927万円)

JR渋川駅前周辺地域で進行する人口減少やスポンジ化への対策を講じるとともに、中心市街地のにぎわい創出による地域経済の活性化など都市拠点の再生を図るため、「JR渋川駅周辺地域再生構想」を策定します

◆ 上信自動車道関連事業(5,322万円)

県が進めている上信自動車道金井IC・箱島IC間の平成31年度の開通に向けて関係機関と連携し、アクセス道路の整備を引き続き進めます

 文化の振興・地域活性化



創建200年祭が行われる上三原田の歌舞伎舞台



昨年初めて行われた赤城まつり

● 市民会館等へのイベント誘致(1,100万円)

● 地域のまつり等応援事業(100万円)

地域の小さな祭りや行事に必要な備品などの購入や記録保存のための費用に補助金を交付し、伝統文化の継承や地域の活性化を図ります

● ふるさと渋川再発見事業

- ・偉人等顕彰、馬車鉄道・路面電車碑設置(286万円)
- ・冊子「(仮題)渋川市の偉人たち」の作成(41万円)

● (仮称)ふるさと歴史館調査研究事業(13万円)

● 金井遺跡群等活用事業(224万円)

● 上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭開催支援(4,548万円)

上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭の実施にあたり、舞台操作伝承委員会など、関係団体で組織する実行委員会の取り組みを支援します

◆ 市民会館施設設備改修事業(12億1,306万円)

平成31年11月のリニューアルオープンに向けて、市民会館の耐震補強及び改修工事を行います

4 行財政改革

将来にわたり持続可能な行財政運営のため、行財政改革に取り組みます。

● 市有財産の活用や売却の推進(4,379万円)

廃校施設の活用や遊休財産の売却、温泉施設の譲渡などの取り組みを計画的に進めます

◆ 市債の繰上償還(11億7,139万円)

平成30年度に引き続き、減債基金を活用した高金利市債の繰上償還を行い、市債残高を縮減します

● 債務負担行為(ゼロ市債)を設定(2億1,165万円)

事業効果の早期発現と公共工事の平準化を図るため、平成30年度補正予算で債務負担行為(ゼロ市債)を設定し、効率的な事業実施に努めます

● 部・課体制の見直しと行政センターの機能強化

さまざまな行政課題に迅速に対応するため、危機管理体制の強化、地域包括ケアシステムの構築などを目的とした部・課体制の見直しを行うとともに、行政センターの機能の強化を図ります



組織体制の見直しを行い行政センターの機能強化を図ります(写真は赤城行政センター)

渋川市の一般会計予算(375億5,300万円)を 1カ月30万円の家計に例えてみましょう！



収入		支出	
○給与収入 (市税)	89,500円 (29.8%)	○衣食住などの生活費 (人件費、社会保障給付費、物件費)	146,835円 (48.9%)
○パート収入 (使用料、手数料など)	20,375円 (6.8%)	○家の増改築などの費用 (道路の新設などの普通建設費)	33,187円 (11.1%)
○親や兄弟からの援助金 (国や県からの補助金、地方交付税など)	128,903円 (43%)	○家などの修繕費用 (道路の補修等の維持補修など)	10,114円 (3.4%)
○貯金の取り崩し (基金の取り崩し)	32,985円 (11%)	○保険料、自治会会費など (各種団体への補助金等の補助費など)	29,320円 (9.8%)
○銀行からの借り入れ (国や銀行からの借り入れ)	28,237円 (9.4%)	○子どもへの仕送り (特別会計への繰出金など)	40,209円 (13.4%)
		○貯金 (基金への積立)	3,124円 (1%)
		○ローンの返済 (借り入れたお金を返済する公債費)	37,211円 (12.4%)
収入合計	300,000円	支出合計	300,000円

平成30年度3月補正予算の概要をお知らせします

(単位:千円)

会計名	補正前 予算額	3月補正 予算額	補正後 予算額	
一般会計	37,567,490	52,110	37,619,600	
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	9,376,191	58,141	9,434,332
	後期高齢者医療特別会計	1,072,194	18,099	1,090,293
	介護保険特別会計	8,728,185	△ 44,492	8,683,693
	下水道事業特別会計	2,574,489	△ 135,587	2,438,902

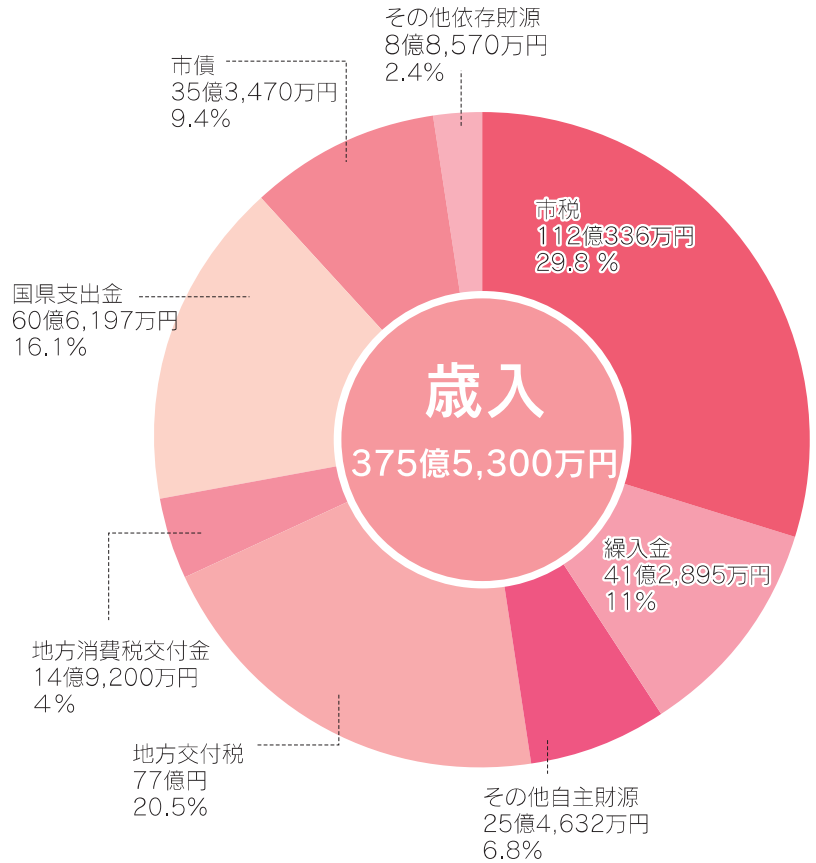
3月市議会定例会において議決された補正予算のうち、一般会計の主な事業についてお知らせします。

- 豚コレラの感染を防止する緊急防疫対策(580万円)
国内で豚コレラの感染が確認されていることから、消毒剤の無償配布などにより養豚農家の防疫対策を支援します
- 外国人観光客の受け入れ環境を充実(30万円)
バス路線と観光施設に最寄りのバス停などを表示した外国語版の案内マップを作成します
- ふるさと文化基金の創設(3,000万円)
寄附金を元に、本市の文化遺産をはじめ、先人の功績や地域のまつりなどを後世に伝えるための基金を創設します
- 国の補正予算(第2号)に対応した事業(2億8,016万2千円)
▷感染症(風しん)を予防するため、39～56歳男性を対象に抗体検査・予防接種を実施します ▷古巻小学校のトイレを洋式化します
▷国土調査(横堀地内、津久田地内)を追加実施します
- ゼロ市債を活用した事業の実施(680万9千円)
平成31年度に予定の工事を前倒しして発注し、事業効果の早期発現を図ります ▷渋川駅前プラザの改修=2・3階を市民ギャラリーなど、市民が集い交流できる場所として整備します

一般会計当初予算

用語の説明

市税	市民税や固定資産税など
繰入金	積み立てている基金などから繰り入れるお金
その他自主財源	使用料・手数料や財産収入など
地方交付税	市の財政状況に応じて国から交付されるお金
地方消費税交付金	地方消費税の一定割合を県が市町村の人口などに応じて交付するお金
国県支出金	特定の事業を行うために国・県から交付されるお金
市債	国や金融機関などから借り入れるお金
その他依存財源	国から交付される地方譲与税や交付金など



用語の説明

議会費	議員の報酬や、議会運営などに使われるお金
総務費	市の全般的な事務に使われるお金
民生費	子育て支援や福祉サービスなどに使われるお金
衛生費	市民の健康増進やごみの処理などに使われるお金
農林水産業費	農林業の振興や土地改良などに使われるお金
商工費	商工業や観光振興などに使われるお金
土木費	道路や公園の整備などに使われるお金
消防費	消防団活動、防災対策などに使われるお金
教育費	幼稚園、小・中学校、体育・文化活動などに使われるお金
公債費	借り入れたお金の返済に使われるお金
その他	労働費やその他の支出

